

2010年9月28日

電通、「スパイクス アジア広告祭 2010」において デジタル部門でグランプリを受賞

「スパイクス アジア広告祭 (Spikes Asia Advertising Festival 2010)」が、9月19日から21日、シンガポールで開催された。22の国と地域から3,058のエントリー作品があった本年の同広告祭において、電通グループはデジタル部門でグランプリを受賞した。

また、デジタル、デザイン、ダイレクト&セールスプロモーション、メディアの4部門で、計9つの金賞を受賞した。

具体的には、デジタル部門では、電通制作の「UNIQLO LUCKY SWITCH」(広告主：株式会社ユニクロ)、「UNIQLO COLLECTION TOKYO 2009」(広告主：株式会社ユニクロ)、「PhoneBook “POPO and MOMO Ride! Ride!”」(広告主：株式会社講談社)の3作品が金賞を受賞した。そして、金賞の中から最も優れた作品に贈られるグランプリに、上記の「UNIQLO LUCKY SWITCH」が選ばれた。

また、デザイン部門では、電通(関西支社)制作の「episteme」(広告主：ロート製薬株式会社)、電通制作の「ASIAN WAVE」(広告主：(財)吉田秀雄記念事業財団[アド・ミュージアム東京])と電通制作の「China High!」(同左)、及び「コピー年鑑 2009」(広告主：東京コピーライターズクラブ)の4作品が金賞を受賞した。

さらに、ダイレクト&セールスプロモーション部門では、電通制作の「UNIQLO LUCKY SWITCH」(広告主：株式会社ユニクロ)が金賞を受賞。

メディア部門では、電通(関西支社)制作の「映す広告」(広告主：株式会社朝日新聞社)が金賞に選ばれた。

また、同広告祭において行われた「ヤング・スパイクス・メディア」では、電通の織戸愛・橋本新が金賞を受賞した。

<スパイクス アジア広告祭について>

アジア太平洋地域における広告の創造性を祝うスパイクス アジア広告祭は、国際広告祭(International Advertising Festival)とヘイマーケット・メディア社(Haymarket Media)の協力によって運営されている。

応募作品はアジアで公開されていることが条件であり、部門はTV/シネマ、プリント、アウトドア、メディア、ダイレクト&セールスプロモーション、デジタル、ラジオ、インテグレイティッド、デザイン、TV/シネマクラフト、プリントクラフトの全11部門からなる。

受賞作品の概要は次ページの通り。

<受賞作品概要>

■デジタル部門 グランプリ作品

広告主：株式会社ユニクロ
商品/サービス名：ユニクロ
作品名：「UNIQLO LUCKY SWITCH」
広告会社：株式会社 電通

■デジタル部門 金賞3作品

広告主：株式会社ユニクロ
商品/サービス名：ユニクロ
作品名：「UNIQLO LUCKY SWITCH」
広告会社：株式会社 電通

広告主：株式会社ユニクロ
商品/サービス名：ユニクロ
作品名：「UNIQLO COLLECTION TOKYO 2009」
広告会社：株式会社 電通

広告主：株式会社講談社
商品/サービス名：PhoneBook
作品名：「PhoneBook “POPO and MOMO Ride! Ride!”」
広告会社：株式会社 電通

■デザイン部門 金賞4作品

広告主：ロート製薬株式会社
商品名：episteme
作品名：「Launch of episteme Skincare Range」
広告会社：株式会社 電通（関西支社）

広告主：（財）吉田秀雄記念事業財団（アド・ミュージアム東京）
商品/サービス名：ADFEST 2009 展
作品名：「ASIAN WAVE」
広告会社：株式会社 電通

広告主：（財）吉田秀雄記念事業財団（アド・ミュージアム東京）
商品/サービス名：第16回 中国国際広告祭展
作品名：「China High!」
広告会社：株式会社 電通

広告主：東京コピーライターズクラブ
商品/サービス：コピー年鑑 2009
作品名：「コピー年鑑 2009」
広告会社：株式会社 電通

■ダイレクト&セールスプロモーション部門 金賞作品

広告主：株式会社ユニクロ

商品/サービス名：ユニクロ

作品名：「UNIQLO LUCKY SWITCH」

広告会社：株式会社 電通

■メディア部門 金賞作品

広告主：株式会社 朝日新聞社

商品名：朝日新聞

作品名：「映す広告」

広告会社：株式会社 電通（関西支社）

以上